

# みなとかまいし 地区会議だより



【平成 26 年 1 月 1 日発行 第 5 号】

みなとかまいし地区会議は、市中心部の 39 団体で組織し、地域と行政との協働による地域課題の解決に取り組んでいます。

【発行】みなとかまいし地区会議  
議長 高橋 松一

【事務局】釜石地区生活応援センター  
電話 22-0180 FAX 22-6375

## 希望と笑顔があふれるまち 釜石へ






あけましておめでとうございます。

震災から 2 年 9 ヶ月が経過し、ようやく復興整備事業が本格的に動き出しました。大地を駆ける馬のように復興が加速する年になるよう、今年も手を取り合っ、地域の復興に向けて取り組んでまいりましょう。 本年もよろしくお願ひします。

【高橋議長ほか役員・事務局一同】

### 平成 25 年度 第 1 回地域会議 (11 / 15 (金) 開催)

市役所会議室で開催し、地区会議から 29 人が出席しました。まず、復興の取り組みや地域課題への対応方針について、市長をはじめ市の幹部職員から説明していただき、その後、意見交換を行いました。当地区会議の 11 項目の要望に対する市の対応方針については、次のとおり回答がありました。

課題・要望項目	市の対応方針など(要旨)
① 大平町望洋ヶ丘から大平町 1 丁目への避難道路の整備について (継続要望)	現在、道路整備は考えていません。望洋ヶ丘に通じる市道が災害などにより通行困難となった場合、復旧までの間、比較的傾斜が緩やかな大平町 1-7 方面への里道を利用して徒歩通行をお願いします。
② 東部地区の排水系統の再検討と汐立川の改修について A: 天神沢都市下水路の改良 B: 汐立川都市下水路の浚渫・嵩上げ改良 C: 甲子川(五の橋~矢の浦橋)の浚渫、護岸の嵩上げ改良 (継続要望、一部追加)	A: 天神町仮設住宅撤去後に、改修工事を進めます。 B: 浚渫は、H25 年 6 月に堆積した泥などの除去作業を実施しました。今後も状況を見ながら対応します。嵩上げは、H26 年度以降に東部地区雨水管路整備事業で実施します。 C: 県では、H25 年度に大渡橋付近の浚渫を実施しており、引き続き H26 年度に大渡橋上流区間の浚渫を行う予定と聞いています。 
③ 駒木町集会所の整備について (継続要望)	元々民設の集会所であり、市での建替えは考えていません。集会所建設は、被災して集会所がなくなった地域が優先となります。
④ 戦災復興後の都市計画事業の完遂について(浜町地区) (新規要望)	要望地区は戦災復興土地区画整理事業の区域外で、今回の復興整備計画からも外れている区域ですが、住みよいまちづくりについて町内会とも協議していくべきと考えています。
⑤ 避難所となる集会施設の充実について (新規要望) A: 海の芸能伝承館 B: 浜町集会所 	避難用所物品は、毛布やマットなど支給可能な物品があるので、ご相談下さい。浜町集会所の洋式トイレは、設置に向け内容や予算を調整します。施設の改修は、市内各集会所で使用困難な設備を優先して実施しており、緊急度を見ながら対応します。
⑥ 国道 45 号線只越高架橋以東の嵩上げ計画の見直しについて (新規要望)	港町地区に整備するグリーンベルトとの連続性を確保し、避難経路の確保や背後市街地への浸水を軽減するためにも必要な嵩上げと認識していますので、ご理解をお願いします。
⑦ 東部地区の津波シミュレーションの公開について (新規要望) 	シミュレーション結果はこれまでも災害危険区域の説明会でお示し説明しております。今後、資料について分かりやすくするなど工夫した上でお示したいと考えています。
⑧ 只越町市庁舎周辺の換地について (新規要望)	市庁舎用地として考えていますが、庁舎の位置や規模については未定です。今後は、代替地についても地権者と協議していきます。

課題・要望項目	市の対応方針など（要旨）
⑨ 釜石駅前国道 283 号線の冠水対策について（新規要望） 【鈴子地区雨水ポンプの改善、通行止の際の代替道路の整備】	雨水ポンプは正常に稼働しています。迂回路の市道中妻駒木線は、ガード下ポンプ場を稼働させて、車両通行の確保に努めています。国道 283 号線の通行止めの際は、釜石製鐵所の構内通行により対応します。
⑩ 鈴子町教育センター周辺道路の安全確保について（新規要望） 【横断歩道や標識の設置など】	教育センター前はバス停が連続してあるため、横断歩道を設置できません。釜石警察署では現状での信号機の設置は困難とのことです。交通事故の注意を呼びかける看板の設置などを行っています。
⑪津波避難看板等の整備について A：鈴子町の津波避難看板の増設 B：駒木町の津波避難案内柱の改修（新規要望）	A：津波避難看板は、設置に向け内容や予算を調整します。また、教育センターへの避難案内の工夫を検討します。 B：津波避難案内柱（鉄柱）は、復興整備計画に沿って、計画的に整備します。

## 意見交換より

・高架橋の橋脚などの公共物に、津波到達レベルなどの標識を設置してほしい

⇒ 危機管理監：復興計画と合わせて進めており、県内共通の大きさ（約 1m20cm× 約 30cm）のものを作成予定です。

・まちづくり会社について説明してほしい

⇒ リーディング事業推進室：11月1日に設立し、本格的な業務開始は来春を予定しています。業務内容は、フロントプロジェクトの中で整備される公共施設の維持管理や共同店舗の経営などで、体制が整ってから改めて説明する予定です。

・釜石消防署の新庁舎が完成すると、救急車が出動する際に危険になるので、鈴子町の国道に信号機を付けてほしい。

⇒ 危機管理監：信号機を増設するよう関係機関に働き掛けることは考えていません。交通安全への配慮について、消防と協議します。



## みなとかまいし地区会議 グラウンドゴルフ交流大会 (11/1(金)開催)

新装となった釜石市球技場を会場に第1回交流大会を開催し、41人の参加がありました。

グラウンドゴルフは初めてという方も多かったのですが、きれいな人工芝の上で和気あいあいと楽しくプレイしました。

プレイ後は、球技場クラブハウスで昼食をとりながら交流しました。

成績発表では、個人と団体の結果を発表し、個人成績の上位者には、ささやかな賞品が贈られました。

参加者からは「楽しかった」「また参加したい」という声を多くいただいたので、次の開催を検討しています。

